



多職種連携の視点と実務を学ぶ

公認心理師は、現状の多様な問題への対応を適切に行っていくために、自らが業務を行う分野のみならず、さまざまな分野における心理師の業務や各分野の動向についても理解を深めることが求められます。公認心理師試験研修センターは、多職種連携の視点を学び、自身の業務や連携に役立てるためのセミナーを開催いたします。

- 【開催日】2024(令和6)年7月20日(土)
- 【会場】公認心理師試験研修センター(旧 日本心理研修センター)
(東京都文京区小日向 4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷 10階、茗荷谷駅徒歩約5分)
- 【定員】会場参加 70名(抽選)
オンライン視聴 約500名
- 【参加費】会場参加 8,800円(税込)
オンライン視聴 3,300円(税込)
- 【申込期間】◆会場参加 2024年6月12日(水)~6月30日(日)
6月30日(日)までに申込された方を対象に抽選を行い、結果をメールでご案内いたします。
当選された方は、研修申込サイトより決済手続きをしてください。
当選されなかった方は、オンライン視聴のお申込みができます。
◆オンライン視聴 2024年6月12日(水)~7月12日(金)
- 【参加資格】公認心理師資格登録者
- 【申込予約】公認心理師試験研修センターホームページより (<https://www.jccpp.or.jp>)

<7月20日(土)>

- プログラム第1)講座 各分野の最新情報を知る(2時間)
ねらい)各分野の心理的支援業務に関わる、現状の課題と最近の動向について要点を押さえる。
10:00~12:00
 - ・保健医療分野における新たな動向 【講師】大村重成((医)福岡保養院、院長)
 - ・福祉分野における新たな動向 【講師】薬師寺真(岡山県倉敷児童相談所、所長)
 - ・教育分野における新たな動向 【講師】家近早苗(東京福祉大学、教授)
 - ・司法・犯罪分野における新たな動向 【講師】小島秀吾(国際医療福祉大学、教授)
 - ・産業・労働分野における新たな動向 【講師】外島 裕(日本大学、名誉教授)
- プログラム第2)事例検討 多角的な視点から事例を考える(2時間15分)
ねらい)各分野における実務的な観点に基づいた事例検討を通じて、多角的な視点からの事例理解を図る。
13:15~15:30
 - 【ファシリテーター】黒木俊秀(中村学園大学、特命教授)
 - 【事例提供者】増沢高((福)子どもの虹情報研修センター、研究部長)
 - 【登壇者】保健医療分野 花村温子((独)地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター心理療法室、主任)
 - 福祉分野 藤原 誠(香川県子ども女性相談センター、次長(兼)相談支援課長)
 - 教育分野 田村節子((一社)スクールセーフティネット・リサーチセンター、代表理事)
 - 司法・犯罪分野 門本 泉(大正大学、教授)
 - 産業・労働分野 三宅美樹((株)トヨタ車体研究所、心理職)
- プログラム第3)シンポジウム これからの事例検討のあり方を考える(1時間)
ー連携による多角的視点を事例理解に活かすためにー
ねらい)事例検討における討議の流れや事例理解の広がりや深まりを踏まえつつ、多職種連携を基本に据えた心理職間の事例検討や多職種チームによるケースカンファレンスのあり方について考える。
15:45~16:45
 - 【ファシリテーター、司法・犯罪分野】橋本和明(国際医療福祉大学、教授)
 - 【登壇者】保健医療分野 黒木俊秀(中村学園大学、特命教授)
 - 福祉分野 増沢 高((福)子どもの虹情報研修センター、研究部長)
 - 教育分野 石隈利紀(東京成徳大学、特任教授)
 - 産業・労働分野 金井篤子(愛知県みずほ大学、特任教授)